(19)日本国特許庁(JP)　　(12)公開特許公報(A)　　(11)公開番号
特開2023-166316
(P2023-166316A)
(43)公開日　令和5年11月21日(2023.11.21)

| (51)国際特許分類 | FI | テーマコード（参考） |
|---|---|---|
| *G06Q 10/06 (2023.01)* | G06Q 10/06 | 5L049 |

審査請求　未請求　請求項の数　15　　ＯＬ　（全21頁）

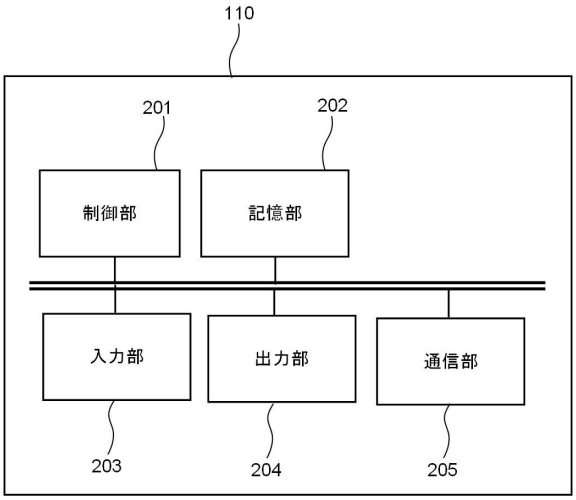
(21)出願番号　特願2022-111937(P2022-111937)
(22)出願日　令和4年7月12日(2022.7.12)
(62)分割の表示　特願2022-77271(P2022-77271)の分割
原出願日　令和4年5月9日(2022.5.9)

(71)出願人　519389557
株式会社ＳｏＶａ
東京都中央区日本橋本町三丁目９番７号
ＡＲＣ　ＣＵＢＥ　日本橋本町３階
(74)代理人　110002789
弁理士法人ＩＰＸ
(72)発明者　山本　健太郎
東京都中央区日本橋本町３－９－７　ＡＲＣ　ＣＵＢＥ日本橋本町３階　株式会社ＳｏＶａ内

Ｆターム（参考）　5L049　AA20

(54)【発明の名称】　情報処理装置、情報処理方法及びプログラム

(57)【要約】　（修正有）
【課題】企業等の組織の担当者が組織に必要な手続きを所定の期限までに漏れなく行える情報処理装置、情報処理方法及びプログラムを提供する。
【解決手段】情報処理装置１１０は、制御部２０１を有する。制御部２０１は選択画面を表示する。選択画面は、組織に関する複数のイベントテーマが選択可能に構成される。選択画面を介して、複数のイベントテーマのうち１つのイベントテーマが選択された場合、選択されたイベントテーマに関する複数の手続き作業の中から、ユーザーが行う手続き作業を決定するのに用いられる一つ又は複数の質問を提示する。選択されたイベントテーマと質問に対する回答とに基づいて、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定する。一つ又は複数の手続きに関する手続き作業のスケジュール情報を選択画面と同一画面上に表示させる。
【選択図】図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
情報処理装置であって、
制御部を有し、
前記制御部は、
選択画面を表示し、
前記選択画面は、組織に関する複数のイベントテーマが選択可能に構成され、
前記選択画面を介して、複数のイベントテーマのうち１つのイベントテーマが選択された場合、選択されたイベントテーマに関する複数の手続き作業の中から、ユーザーが行う手続き作業を決定するのに用いられる一つ又は複数の質問を提示し、
選択されたイベントテーマと前記質問に対する回答とに基づいて、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定し、
前記一つ又は複数の手続きに関する手続き作業のスケジュール情報を前記選択画面と同一画面上に表示させる、
情報処理装置。
【請求項２】
請求項１に記載の情報処理装置において、
前記スケジュール情報は、手続き作業の内容と手続き作業の期限情報を含むものである、
情報処理装置。
【請求項３】
請求項１又は請求項２に記載の情報処理装置において、
前記制御部は、
前記手続き作業のスケジュール情報に、複数の手続き作業に関する情報が含まれる場合、前記複数の手続き作業を表示する順番を、それぞれの手続きの期限情報に基づき、決定する、
情報処理装置。
【請求項４】
請求項１から請求項３までの何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記制御部は、
前記手続き作業のスケジュール情報には、実施状況の情報が含まれ、
前記実施状況の情報は、ユーザーのからの指示に基づき変更される、
情報処理装置。
【請求項５】
請求項１から請求項４までの何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記選択画面は、組織に関する複数のイベントテーマのうち、ユーザーが選択した特定のイベントテーマを優先して表示するように構成される、
情報処理装置。
【請求項６】
請求項１から請求項５までの何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記制御部は、
同一のイベントに対して決定された一つ又は複数の手続き作業のスケジュール情報について、作業手順を表示し、
決定された手続き作業のスケジュール情報が複数ある場合には、それぞれの手続きの期限情報及びそれぞれの手続きの関係性に基づき、複数の手続き作業のスケジュール情報の、実施順を決定し、決定した前記実施順に基づき前記作業手順を表示する、
情報処理装置。
【請求項７】
請求項１から請求項６までの何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記制御部は、

ユーザーが手続き作業のスケジュール情報に表示された複数の手続き作業の中の、一つの手続き作業を実施する場合、同一のイベントに対して決定された、手続き一覧を前記選択画面に表示する、
情報処理装置。
【請求項８】
請求項７に記載の情報処理装置において、
前記手続き一覧は、処理が未完了の手続きの一覧である、
情報処理装置。
【請求項９】
請求項１から請求項８までの何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記制御部は、
会社情報登録画面を表示し、
前記会社情報登録画面を介して入力された会社情報に基づいて、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定し、前記一つ又は複数の手続きに関する手続き作業のスケジュール情報を前記選択画面に表示させる、
情報処理装置。
【請求項１０】
請求項１から請求項９までの何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記制御部は、前記イベントテーマとともに、又は、前記手続き作業のスケジュール情報とともに、手続き作業に関連する記事情報へのリンクを表示させる、
情報処理装置。
【請求項１１】
請求項１から請求項１０までの何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記制御部は、
前記手続き作業のスケジュール情報の実施状況が完了となるべき手続き期限までの残日数に基づき、前記選択画面と同一画面上に前記残日数に関する情報を表示させる、
情報処理装置。
【請求項１２】
請求項１から請求項１１までの何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記組織に関するイベントテーマは、前記組織に関する税務、又は経理、又は労務、又は登記の分野に関するものである、
情報処理装置。
【請求項１３】
請求項１から請求項１２までの何れか１項に記載の情報処理装置において、
前記制御部は、ユーザーについての情報登録画面を表示し、
前記情報登録画面は、ユーザーに関する質問を提示し、前記質問に対しユーザーから受け付けた回答に基づき、前記手続きの内容及び前記手続きの期限の何れか又は双方を変更する、
情報処理装置。
【請求項１４】
情報処理装置が実行する情報処理方法であって、
選択画面を表示し、
前記選択画面は、組織に関する複数のイベントテーマが選択可能に構成され、
前記選択画面を介して、複数のイベントテーマのうち１つのイベントのテーマが選択された場合、当該イベントテーマ内の複数の手続き作業の中から、ユーザーが行う手続き作業を決定するのに用いられる一つ又は複数の質問を提示し、
選択されたイベントテーマと前記質問に対する回答とに基づいて、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定し、
前記一つ又は複数の手続きに関する手続き作業のスケジュール情報を前記選択画面に表示させる、

情報処理方法。
【請求項１５】
プログラムであって、
コンピュータを、請求項１から請求項１３までの何れか１項に記載の情報処理装置の制御部として機能させるためのプログラム。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、情報処理装置、情報処理方法及びプログラムに関する。
【背景技術】
【０００２】
特許出願や商標登録出願といった無体財産に関し、所定案件の期限を管理する機能を有する情報処理装置がある（特許文献１参照）。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２０１０－２６２５１９号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
企業等の組織の担当者が組織に必要な手続き（例えば、新入社員の入社等の手続き）を所定の期限まで（例えば、新入社員が入社してくるまで）に漏れなく行いたいという要望等がある。特許文献１の技術では、このような要望に対応することはできない。
【課題を解決するための手段】
【０００５】
本発明の一態様によれば、情報処理装置が提供される。この情報処理装置は、制御部を有する。制御部は、選択画面を表示する。選択画面は、組織に関する複数のイベントテーマが選択可能に構成される。選択画面を介して、複数のイベントテーマのうち１つのイベントテーマが選択された場合、選択されたイベントテーマに関する複数の手続き作業の中から、ユーザーが行う手続き作業を決定するのに用いられる一つ又は複数の質問を提示する。選択されたイベントテーマと質問に対する回答とに基づいて、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定する。一つ又は複数の手続きに関する手続き作業のスケジュール情報を選択画面と同一画面上に表示させる。
【図面の簡単な説明】
【０００６】
【図１】図１は、クライアント装置１１０のハードウェア構成の一例を示す図である。
【図２】図２は、イベントテーマから手続き作業のスケジュールを表示するアクティビティ図である。
【図３】図３は、イベントテーマ選択領域と手続き作業のスケジュール情報を表示させた画面の一例を示す図である。
【図４】図４は、ユーザーが行う手続きが決定するための質問の提示から決定に至るまでを示す一例を示す図である。
【図５】図５は、作業手順を示した画面の一例を示す図である。
【図６】図６は、手続き一覧表示領域の一例を示す図である。
【図７】図７は、リマインド画面の一例を示す図である。
【図８】図８は、ユーザーについての情報登録画面の一例を示す図である。
【図９】図９は、イベントテーマ選択領域の一つの変形例を示す図である。
【図１０】図１０は、会社情報登録画面の一例を示す図である。
【図１１】図１１は、情報処理システムのシステム構成の一例を示す図である。
【図１２】図１２は、サーバー装置１００のハードウェア構成の一例を示す図である。

【発明を実施するための形態】
【０００７】
以下、図面を用いて本発明の実施形態について説明する。以下に示す実施形態中で示した各種特徴事項は、互いに組み合わせ可能である。
【０００８】
本明細書において「部」とは、例えば、広義の回路によって実施されるハードウェア資源と、これらのハードウェア資源によって具体的に実現されうるソフトウェアの情報処理とを合わせたものも含みうる。また、本実施形態においては様々な情報を取り扱うが、これら情報は、０又は１で構成される２進数のビット集合体として信号値の高低によって表され、広義の回路上で通信・演算が実行されうる。
【０００９】
また、広義の回路とは、回路（Ｃｉｒｃｕｉｔ）、回路類（Ｃｉｒｃｕｉｔｒｙ）、プロセッサ（Ｐｒｏｃｅｓｓｏｒ）、及びメモリ（Ｍｅｍｏｒｙ）等を少なくとも適当に組み合わせることによって実現される回路である。すなわち、特定用途向け集積回路（Ａｐｐｌｉｃａｔｉｏｎ Ｓｐｅｃｉｆｉｃ Ｉｎｔｅｇｒａｔｅｄ Ｃｉｒｃｕｉｔ：ＡＳＩＣ）、プログラマブル論理デバイス（例えば、単純プログラマブル論理デバイス（Ｓｉｍｐｌｅ Ｐｒｏｇｒａｍｍａｂｌｅ Ｌｏｇｉｃ Ｄｅｖｉｃｅ：ＳＰＬＤ）、複合プログラマブル論理デバイス（Ｃｏｍｐｌｅｘ Ｐｒｏｇｒａｍｍａｂｌｅ Ｌｏｇｉｃ Ｄｅｖｉｃｅ：ＣＰＬＤ）、及びフィールドプログラマブルゲートアレイ（Ｆｉｅｌｄ Ｐｒｏｇｒａｍｍａｂｌｅ Ｇａｔｅ Ａｒｒａｙ：ＦＰＧＡ））等を含むものである。
【００１０】
〈実施形態１〉
【００１１】
１．ハードウェア構成
（クライアント装置１１０のハードウェア構成）
図１は、クライアント装置１１０のハードウェア構成の一例を示す図である。クライアント装置１１０は、ハードウェア構成として、制御部２０１と、記憶部２０２と、入力部２０３と、出力部２０４と、通信部２０５と、を含む。制御部２０１は、ＣＰＵ等であって、クライアント装置１１０の全体を制御する。記憶部２０２は、ＨＤＤ、ＲＯＭ、ＲＡＭ、ＳＳＤの何れか、又はこれらの任意の組み合わせであって、プログラム、制御部２０１がプログラムに基づき処理を実行する際に利用するデータ等を記憶させる。制御部２０１が、記憶部２０２に記憶されているプログラムに基づき、処理を実行することによって、後述する図２に示すアクティビティ図の処理及び図３～図１０に示す画面遷移に関する表示制御等が実現される。
【００１２】
また、クライアント装置１１０の記憶部２０２は、組織に関するイベントテーマの情報と、イベントテーマからユーザーが行う手続きを特定するための情報と、具体的な手続き作業の情報と、手続き作業に関連する記事情報と、ユーザーに関する情報などを、記憶している。ここで、組織に関するイベントテーマの情報とは、組織に関するどのようなイベントテーマについて、どのような場合にどのような手続き作業が必要であるかに関する情報などを含む。イベントテーマからユーザーが行う手続きを決定するための情報とは、ユーザーが行う手続きを決定するために必要な質問パターンと回答ボタン、判定ツールなどである。具体的な手続き作業の情報とは、それぞれの手続き作業に関する作業マニュアル、必要書面の雛形、必要書面の記載例、関連法令などである。作業マニュアルには、手続き作業の期限情報や手続き先の情報などを含む。必要書面の雛形は最新の雛形を収載し、作業マニュアル及び必要書面の記載例は各分野の専門家により監修されたものであるとよい。手続きに関連する記事情報は、ユーザーに向けた手続き作業の解説記事などである。ユーザーに関する情報は、ユーザーから受け付けた要求や質問やユーザーが登録したスケジュール情報や会社情報などである。ここで、ユーザーとは、組織の手続きの担当者を指す。

【００１３】
入力部２０３は、マウス及びキーボード等であって、ユーザー操作を制御部２０１に入力する。さらに入力部２０３は、マイク等であって、ユーザーの音声を制御部２０１に入力する。出力部２０４は、ディスプレイ及びスピーカー等であって、制御部２０１の処理の結果等を表示したり、音声で出力したりする。通信部２０５は、ＮＩＣ等であって、クライアント装置１１０をネットワーク１２０に接続し、他の装置（例えば、サーバー装置１００等）との通信を司る。記憶部２０２は、記憶媒体の一例である。
【００１４】
２．情報処理
（概要）
クライアント装置１１０の制御部２０１は、出力部２０４に組織に関する複数のイベントテーマが選択可能に構成されたイベントテーマ選択領域を表示させる。制御部２０１は、ユーザーによりイベントテーマ選択領域を介して、複数のイベントテーマのうち１つのイベントのテーマが選択されたことを受け付けると、選択されたイベントテーマに関する複数の手続き作業の中から、ユーザーが行う手続き作業を決定するのに用いられる一つ又は複数の質問を出力部２０４に提示する。次に、制御部２０１は、ユーザーから入力部２０３を介し、提示した質問に対する回答を受け付けると、選択されたイベントテーマと質問に対する回答とに基づいて、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定する。制御部２０１は、一度の質問で決定できない場合には、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定できるまで質問と回答の受け付けを繰り返す。制御部２０１は、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定すると、出力部２０４に一つ又は複数の手続きに関する手続き作業のスケジュール情報をイベントテーマ選択領域と同一画面上に表示させる。
【００１５】
図２は、クライアント装置１１０が、イベントテーマから手続き作業のスケジュールを表示するまでのアクティビティ図である。図３は、イベントテーマ選択領域と手続き作業のスケジュール情報を表示させた画面の一例を示す図である。
Ａ４０１において、制御部２０１は、出力部２０４に画面３０１を表示させる。画面３０１は選択画面の一例である。画面３０１には、イベントテーマ選択領域３０２が含まれる。領域３０２は、選択ボタン３０３、選択ボタン３０４、選択ボタン３０５、選択ボタン３０６のように複数の組織に関するイベントテーマの選択ボタンが選択可能に構成されている。
イベントテーマとしては、組織を運営するためのあらゆるイベントを想定している。組織に関するイベントテーマには、税務、経理、労務、登記、銀行融資、株式調達、商標、特許、補助金、助成金などに関するイベントテーマがある。組織に関するイベントテーマは、主に、組織に関する税務、又は経理、又は労務、又は登記の分野に関するものである。イベントとしては、例えば、住民税の納付、消費税の判定、償却資産税の申告、年末調整の計算、法定調書合計表の作成、経理精算制度の構築、源泉所得税の納付、源泉徴収票の作成、年度更新、扶養親族の追加、業務委託契約の締結、役員報酬の決定、手取り額の計算、従業員の退社、社会保険の加入、賞与の支給、社宅の設定方法、役員報酬の変更、従業員の入社、従業員の結婚、発行可能株式数の変更、代表取締役の引っ越し、社名変更、事業内容の変更、役員の変更、増資の登記、本店移転、登記簿謄本の取得等が挙げられる。税務だけ、経理だけなど一つ分野で縛るのではなく、いわゆるバックオフィス業務に関して全般的に取り扱うことで、組織に関して発生するイベントに対して自分が行うべき手続きを把握したいというユーザーのニーズに応えることができる。
【００１６】
領域３０２は、組織に関する複数のイベントテーマのうち、ユーザーが選択した特定のテーマを優先して表示するように構成することができる。例えば、制御部２０１は、領域３０２に表示させるイベントテーマについて、ユーザーからの選択指示を受け付け、選択指示を受け付けたテーマを優先的に表示するように領域３０２を構成することができる。制御部２０１は、ユーザーからの指示に基づき、図３の領域３０２に、選択ボタン３０３

には「会社情報に変更がある（本店移転など）」、選択ボタン３０４には「入社又は退社の手続き」、選択ボタン３０５には「メンバー変更（結婚又は引っ越しなど）の手続き」、選択ボタン３０６には、「報酬又は給与（給与計算又は明細など）手続き」を表示させることができる。その際、制御部２０１は、ユーザーが優先的に表示するイベントテーマ以外のテーマを選択する場合のために、選択ボタン３０８のようにすべてのイベントテーマを表示するボタンを設けることもできる。また、制御部２０１は、イベントテーマとともに、選択ボタン３０７のように会計ソフトの設定及び会計ソフトの使い方など使用頻度の高い情報へのリンクを表示する選択ボタンを設定することもできる。全社的なイベントテーマ又は発生頻度の高いイベントテーマなどが優先的に表示するように選択することができるため、ユーザーは、効率よく作業を進めることができる。

【００１７】

図２の説明に戻る。

Ａ４０２において、制御部２０１は、領域３０２を介して複数のイベントテーマのうち１つのイベントのテーマの選択の受け付けを待機する。制御部２０１は、領域３０２を介して、１つのイベントのテーマが選択されたことを受け付ける。制御部２０１は、Ａ４０３の処理に進む。

Ａ４０３において、制御部２０１は、選択されたイベントテーマと、クライアント装置１１０の記憶部２０２に記憶された様々な質問パターンとに基づき、選択されたイベントテーマに関する複数の手続き作業の中からユーザーが行う手続き作業を決定するのに用いられる質問のうち一つの質問と回答ボタンを選択する。制御部２０１は、出力部２０４に選択した質問と回答ボタンを表示させる。

Ａ４０４において、制御部２０１は、回答ボタンを介して、選択された回答を受け付ける。

Ａ４０５において、制御部２０１は、選択されたイベントテーマとこれまでに受け付けた質問に対する回答とに基づいて、ユーザーが行う手続きが決定するかの判定を行う。制御部２０１は、ユーザーが行う手続きが決定した場合、Ａ４０６に進む。制御部２０１は、ユーザーが行う手続きが決定しない場合、Ａ４０３に戻る。制御部２０１は、ユーザーが行う手続きが決定するまで、Ａ４０３からＡ４０５までの処理を繰り返す。

Ａ４０６において、制御部２０１は、出力部２０４にユーザーが行う手続き作業のスケジュールをスケジュール情報表示領域３１０に表示させる。

【００１８】

（スケジュール情報表示領域）

図３のスケジュール情報表示領域３１０は、手続き作業のスケジュール情報を表示する画面である。制御部２０１は、選択画面を介してユーザーから選択されたイベントテーマと前記質問に対する回答とに基づいて、決定されたユーザーが行う一つ又は複数の手続きに関する手続き作業のスケジュール情報をスケジュール情報表示領域３１０に表示させる。手続き作業のスケジュール情報とは、ユーザーが行う手続き作業に関するスケジュール情報であり、どのような作業をいつまでに実施するかが分かる情報である。スケジュール情報は、より具体的には、手続き作業の内容と手続き作業の期限情報を含むものである。手続き作業の内容には、例えば、手続き作業の概要、手続き先の機関、必要書面、必要書面の雛形、必要書面の記載例、作業マニュアル、手続きにあたり必要なもの情報（印鑑や添付書類、印紙など）、関連法令の情報、手続きを行うのに必要な推定時間の情報などが含まれる。複数の手続きが必要な場合には、手続きを行う順番やそれぞれの手続きを行うのに必要な推定時間の情報なども含まれる。

【００１９】

次に、手続き作業のスケジュール情報の具体的な表示方法を説明する。制御部２０１は、手続き作業のスケジュール情報を例えば、カレンダー３１１のように、１ヶ月毎のカレンダー形式で表示させてもよい。制御部２０１は、カレンダーから各日に作業する内容を確認できるようにしてもよい。制御部２０１は、例えば、ユーザーによって、カレンダー３１１上で３月のカレンダーの「１８」のところをクリックされたことを受け付ける。制

御部２０１は、記憶部２０２に保存された情報から３月１８日が期限の手続き作業のスケジュール情報を検索し、出力部２０４に表示させるようにしてもよい。

制御部２０１は、手続き作業のスケジュール情報について、スケジュール情報３１２のように、１つの手続き作業のスケジュール情報毎に、出力部２０４に表示させてもよい。その際、制御部２０１は、手続き作業のスケジュール情報の全てを表示してもよいし、手続き作業の内容が分かるタイトルと期限情報のようにスケジュール情報の一部のみを表示させてもよい。制御部２０１は、出力部２０４にスケジュール情報の一部のみを表示させる場合には、詳細なスケジュール情報について表示させるリンクを設けてもよい。

また、制御部２０１は、カレンダー３１１とスケジュール情報３１２を両方表示させ、カレンダー３１１上でユーザーにより特定の日付がクリックされたことを受け付けると、制御部２０１は、ユーザーにより選択された特定の日付のスケジュール情報３１２を出力部２０４に表示させることもできる。その場合に、制御部２０１は、例えば、３月１８日のところに日付マーク３１６を選択されたことを示す日付マークとして表示させ、３月１８日が手続き作業の期限となるスケジュール情報３１２に日付マーク３１６を表示させることもできる。

【００２０】

手続き作業のスケジュール情報に、複数の手続き作業に関する情報が含まれる場合、制御部２０１は、複数の手続き作業を表示する順番を、それぞれの手続きの期限情報に基づき、決定することができる。例えばスケジュール情報３１２、スケジュール情報３１３、スケジュール情報３１４のように複数のスケジュール情報がある場合、制御部２０１は、それぞれの手続きの期限情報に基づき、手続き作業の期限の日付が早いものから順に上から並べてもよい。手続き作業の期限の日付が早いものから順に上から並べることにより、手続き作業の期限の日付が早いものがユーザーの目に付きやすく、抜け漏れなく実施することができる。

【００２１】

制御部２０１は、イベントテーマとともに、又は、手続き作業のスケジュール情報とともに、手続き作業に関連する記事情報へのリンクを表示させることができる。関連する記事情報は、それぞれの手続き作業に関連する記事情報であればよい。例えば、イベントテーマが毎月行う給与・報酬計算の手続き作業である場合に、制御部２０１は、「給与支払い時に気をつけたいこと」についての解説情報記事へのリンクを設けることができる。イベントテーマの手続きに関連する法改正があった場合に、制御部２０１は、法改正のポイントと注意点についての解説情報記事へのリンクを設けることもできる。また、制御部２０１は、事前に取得したアンケート情報等に基づきユーザーの経験がまだ所定年数以内（例えば、１年以内）だと判断した場合、経験の浅いユーザーに向けた学習記事のリンクを表示させてもよい。解説情報記事や学習記事など関連する記事情報へのリンクを設けることで、ユーザーのスキルアップにつなげることができる。

【００２２】

（質問提示画面）

図４は、ユーザーが行う手続きが決定するための質問の提示から決定に至るまでの一例を示す図である。例えば、制御部２０１は、図３のイベントテーマの領域３０２で、ユーザーにより、選択ボタン３０３の「会社情報の変更」が選択されたことを受け付ける。イベントテーマ「会社情報の変更」には、「本店移転」、「代表取締役変更」など複数のイベントが含まれる。そこで、制御部２０１は、「会社情報の変更」に含まれる複数のイベントを出力部２０４に表示させる。制御部２０１は、表示させたイベントの中から、ユーザーにより、「本店移転」というイベントが選択されたことを受け付ける。

【００２３】

「本店移転」というイベントが発生した場合にユーザーが行う手続きは、ユーザーの組織の状況や移転前後の住所などによって異なる。そのため、「本店移転」というイベントに対してユーザーが行う手続き作業を決定するためには、ユーザーの組織の状況や移転前後の住所などの情報が必要である。制御部２０１は、記憶部２０２に記憶された「本店移

転」の際の手続きを決定するために必要な様々な質問パターンの中から，一つの質問と回答ボタンを選択する。制御部２０１は、出力部２０４に質問提示画面５０１を表示させ、選択した一つの質問と回答ボタンを表示させる。

例えば、制御部２０１は、質問提示画面５０１では、質問５０２において、「株式会社であるか合同会社であるか」の質問とともに、回答ボタン５０３を提示させる。この回答の受け付けでは、まだ、ユーザーが行う手続き作業を決定できないため、制御部２０１は、次の質問として会社の移転前後の住所を確認するため、説明５０４とともに、パターン判定へのリンク５０５、質問５０６を提示し、回答ボタン５０７でユーザーによる回答を受け付ける。制御部２０１は、さらに次の質問として質問５０８と回答ボタン５０９を提示し、回答を受け付ける。制御部２０１は、さらに質問５１０と回答ボタン５１１を提示し、回答を受け付ける。回答ボタン５１１による回答を受け付けると、制御部２０１は、ユーザーが行う手続きが決定することができる。制御部２０１は、出力部２０４に、決定した手続き５１２を表示させる。

【００２４】

制御部２０１は、複数の質問が考えられる場合には、なるべく少ない質問でユーザーが行う手続き作業を決定できる質問と回答ボタンを提示するように制御することができる。制御部２０１は、ユーザーが回答ボタンを、選択するだけで回答できるように選択式の回答ボタンとすることができる。また、住所による判定のように複雑な選択が必要な場合には、質問５０６のように、リンク先でパターン判定を実施させることができる。また、質問５１０のように、選択肢に「わからない」を設けるなど、ユーザーが答えやすいように工夫することができる。

【００２５】

「本店移転」の場合には、例えば、法務局、移転前後の納税地税務署、移転前後の都道府県税事務所、労働基準監督署、公共職業安定所、年金事務所、消防署などへの届け出が必要となる可能性がある。このような法令で定められた届け出以外にも郵便局への転居届、銀行・クレジットカード・保険会社などへの届け出が、必要である可能性がある。また、届け出においては、提出期限が決まっている場合も多く、必要な添付書類にも準備が必要なものがある。従来、ユーザーは、自分の組織に関するイベントに対応した必要な手続き作業を特定するために、時間をかけて調べたり、複数の機関に問い合わせる必要があった。しかし、この情報処理装置を使用することにより、ユーザーは、「本店移転」というイベントを選択し、制御部２０１からの質問に回答していくだけで、ユーザー自身が行う手続きを特定することができる。そのため、ユーザーは、自分の組織に関するイベントに対応した必要な手続き作業を容易に特定することができるとともに、手続き作業の期日までに容易に抜け漏れなく実施することができる。

【００２６】

（手続き作業の作業手順）

制御部２０１は、手続き作業が特定されると、手続き作業のスケジュール情報を出力部２０４に表示させる。手続き作業のスケジュール情報には、手続き作業の内容と手続き作業の期限情報が含まれる。手続き作業の内容には、決定された手続き作業の作業手順も含まれる。手続き作業の作業手順は、ユーザーが実施する作業手順を具体的に示したものである。作業手順には、例えば、それぞれの手続き作業に関する作業マニュアルとともに、必要書面の雛形、必要書面の記載例、関連法令などが示される。ユーザーは、手続き作業のスケジュール情報を確認することで自分がなにをいつまでにどのように行えばよいか知ることができる。

【００２７】

図５は、作業手順を示した画面の一例を示す図である。制御部２０１は、一つのイベントに対して決定された一つ又は複数の手続き作業のスケジュール情報について、手続き作業手順表示画面６０１を表示する。手続き作業手順表示画面６０１は、手続き作業毎に手続き作業の内容と手続き作業の期限情報を示す。制御部２０１は、複数の手続き作業がある場合は、まず、１つ目の手続き作業６０３の手順を表示する。法務局に提出する書類を

作成するという作業は、登記申請書の作成、株主リストの作成、取締役会議事録の作成、適用事業所名称住所所在地変更届の作成などより細かい作業項目に細分化できる。このように、手続き作業６０３をさらに細分化できる場合には、制御部２０１は、手続き作業の作業項目６０４のように細分化した項目を表示させる。また、制御部２０１は、手続き作業６０３や手続き作業の作業項目６０４の作業について、書類の具体的な記載方法などについては、詳細表示ボタン６１０を設けて、別ページで説明することもできる。また、図５では、２つ目の手続き作業６０６，３つ目の手続き作業６０７については、詳細表示ボタン６１０を設け、詳細表示ボタン６１０が選択された場合に、制御部２０１が、詳細な作業手順を表示させるようにしている。制御部２０１は、手続き作業手順表示画面６０１の作業に関連する記入書類がある場合は、記入書類一括ダウンロードボタン６０９を設け、ダウンロードの受け付けができるようにしてもよい。

【００２８】

決定された手続き作業のスケジュール情報が複数ある場合には、それぞれの手続きの期限情報及びそれぞれの手続きの関係性に基づき、複数の手続き作業のスケジュール情報の実施順を決定し、決定した前記実施順に基づき作業手順を表示する。

例えば、決定された手続き作業のスケジュールが２つ以上ある場合、制御部２０１は、１つ目の手続き作業６０２と２つ目の手続き作業６０６の順番を、１つ目の手続き作業６０２と２つ目の手続き作業６０６のそれぞれの手続きの期限情報により決定する。また、２つ目の手続き作業６０６の前に１つ目の手続き作業６０２の実施が必要であるという場合には、制御部２０１は、それぞれの手続きの関係性に基づき、作業の順番を決定する。その際には、制御部２０１は、１つ目の手続き作業６０２の期限を、２つ目の手続き作業６０６の実施に必要な時間を加味して決定する。複数の手続き作業がある場合には、それぞれの関係性も含め、手続き作業の実施順が決定されることで、ユーザーは、必要な手続き作業が複数ある場合であっても、手続き作業の期日までに抜け漏れなく実施することができる。

【００２９】

（手続き作業の実施状況の管理）

ユーザーが抜け漏れなく作業をするためには、手続き作業の実施状況管理も大切である。そこで、手続き作業のスケジュール情報には、それぞれの手続き作業が、手続き中であるのか、完了しているのか、不要になったかなどの手続き作業の実施状況を含めることができる。制御部２０１は、各スケジュールの手続き作業のスケジュール情報には、実施状況の情報が含める。また制御部２０１は、実施状況の情報を、ユーザーのからの指示に基づき変更することもできる。

例えば、制御部２０１は、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定すると、手続き作業のスケジュール情報を記憶部２０２に記憶させる。制御部２０１は、決定した手続き作業のスケジュール情報の実施状況を「手続き中」として、記憶部２０２に記憶させることができる。制御部２０１は、手続き作業手順表示画面６０１において、手続き作業完了の報告を受け付けるための、完了ボタン６０８を表示させる。ユーザーは、手続き作業が完了すると、完了ボタン６０８を押下する。制御部２０１は、完了ボタン６０８が押下されたことを受け付ける。制御部２０１は、記憶部２０２に登録された実施状況の情報を「手続き中」から「完了済み」に変更させる。制御部２０１は、ユーザーにより、手続き作業が不要になったとの情報を受け付けた場合、記憶部２０２に記憶された実施状況を「不要」に変更させる。

【００３０】

ところで、ユーザーは、一つのイベントに対して、複数の手続き作業がある場合は手続き作業に漏れがないように注意する必要がある。そこで、制御部２０１は、１つ目の手続き作業６０２、２つ目の手続き作業６０６、３つ目の手続き作業６０７、それぞれの手続き作業毎にユーザーから完了報告を受け付けるようにすることもできる。さらにユーザーは、それぞれの手続き作業に手続き作業の作業項目が複数ある場合にも作業に漏れがないようにする必要がある。そこで、制御部２０１は、手続き作業毎及び手続き作業の作業項

目毎に完了確認のチェック欄を設け、チェック欄にチェックが入っている場合に限り、実施状況の完了ボタン６０８による完了報告を受け付ける仕様にすることもできる。例えば、制御部２０１は、手続き作業の作業項目６０４の左にチェック欄６０５を設けることができる。制御部２０１は、ユーザーにより手続き作業の作業項目毎のチェック欄にチェックを入れられたという情報を記憶部２０２に登録することもできる。それぞれの手続き作業の実施状況が登録されることで、ユーザーは抜け漏れなく実施することができる。

制御部２０１は、実施状況が「手続き中」の手続きの一覧を表示させることもできる。実施状況が「手続き中」の作業一覧を確認ができることで、ユーザーはこれから実施する仕事を把握することができる。

【００３１】

（同一イベントの手続き作業の一覧）

図６は手続き一覧表示画面の一例を示す図である。クライアント装置１１０における制御部２０１は、スケジュール情報表示領域３１０に表示された中の、一つの手続き作業を実施される場合、同一のイベントに対して決定された、手続き一覧表示画面７０１を選択画面に表示するようにしてもよい。

例えば、制御部２０１は、ユーザーにより、「２０２２年度４月入社分の入社手続き」に関する手続き作業がなされている場合、手続き一覧表示画面７０１に「２０２２年度４月入社分の入社」に対して決定された、一つ又は複数の手続きの全てを表示させることができる。その際、制御部２０１は、スケジュール情報表示領域３１０と手続き一覧表示画面７０１の対応関係を示すために、スケジュール情報表示領域３１０に手続き中のマーク７０２のマークを付すことができる。制御部２０１は、手続き一覧表示画面７０１に、同一イベントについて決定された「２０２２年度４月入社分の入社手続き」に関する手続き作業を、手続き作業７０３、手続き作業７０４、手続き作業７０５のように表示させることもできる。このようにすることで、ユーザーは、「２０２２年度４月入社分の入社手続き」の複数の手続き作業を把握しながら、手続き作業を実行することができる。

また、制御部２０１は、手続き一覧表示画面７０１に表示させる手続き作業について、実施状況が「手続き中」の一覧とすることもできる。このようにすることで、ユーザーは、同一イベントに対して決定された一つ又は複数の手続き作業のうち、未完了の手続き作業を把握しながら、作業をすることができる。

【００３２】

（リマインド）

クライアント装置１１０の制御部２０１は、手続き作業のスケジュール情報の実施状況が完了となるべき手続き期限までの残日数に基づき、選択画面と同一画面上に残日数に関する情報を表示させる。

制御部２０１は、記憶部２０２に記憶された手続き作業の実施状況を参照することで、手続き期限までの残日数が少なくなった未完了の手続き作業を特定することができる。制御部２０１は、未完了の手続き作業を特定し、出力部２０４より、ユーザーに通知することができる。図７は、リマインド画面の一例を示す図である。制御部２０１は、リマインド画面８０１に、例えば、現在の日付８０２、リマインド見出し８０３、及びリマインド内容８０４が記載させる。ユーザーは、手続き期限が近づいていることのリマインドがあることで、忘れずに手続き作業を実施することができる。

【００３３】

（ユーザーの性格などに合わせたサポート）

ユーザーの性格や経験、スキルなどにより、必要なサポートは異なってくる。そこで、制御部２０１は、ユーザーについての情報登録画面を表示する。ユーザーの情報登録画面は、ユーザーの性格や経験、スキルなどユーザーに関する質問を提示し、ユーザーから質問に対する回答を受け付ける。制御部２０１は、ユーザーが登録した内容に基づき、手続きの内容及び手続きの期限の何れか又は双方を変更することができる。

図８は、ユーザーについての情報登録画面の一例を示す図である。例えば、制御部２０１は、ユーザーについての情報登録画面９０１において、「経理処理を忘れてしまうこと

が時々ある」という質問９０２を表示させ、回答ボタン９０６でユーザーからの「はい」又は「いいえ」との回答を受け付ける。制御部２０１は、回答ボタン９０６で「はい」との回答を受け付けた場合に、ユーザーに対して、経理処理をフォローを行う情報を提示することができる。制御部２０１は、「補助金・助成金の情報が欲しい」という質問９０３を表示し、回答ボタン９０７でユーザーから「はい」又は「いいえ」との回答を受け付ける。制御部２０１は、回答ボタン９０７で「はい」との回答を受け付けた場合には、ユーザーに関係する補助金・助成金の情報を入手した際にユーザーに「補助金・助成金の情報」を通知することができる。また、制御部２０１は「手続き作業に不安がある（質問９０４）」という質問を表示させ、ユーザーから回答ボタン９０８により「はい」との回答を受けると、制御部２０１は、「初心者向けの説明を希望しますか（質問９０５）」という質問を表示させる。ユーザーから回答ボタン９０９により「はい」との回答を受け付けた場合に、制御部２０１は、初心者向けの関連情報を表示させることができる。制御部２０１は、ユーザーの性格や経験、スキル、要望などに関するユーザーからの回答に基づき、ユーザーに合わせた情報を表示させることができる。これにより、よりユーザーに寄り添ったサポートすることができる。

【００３４】

（変形例１）

実施形態１の変形例１を説明する。変形例１では、実施形態１と異なる点について主に説明する。

図９はイベントテーマ選択領域の一つの変形例を示す図である。実施形態１を示した図３では、組織に関する複数のイベントテーマのうち、ユーザーに選択された特定のテーマを優先して表示するように構成していた。しかし、変形例１において、制御部２０１は、画面１００１にキーワード入力欄１００３を設け、イベントテーマをキーワードにより検索できるようにする。制御部２０１は、ユーザーがキーワードを入力したことを受け付けると、記憶部２０２に記憶させた情報を検索し、結果を出力部２０４に表示させる。例えば、制御部２０１は、出力部２０４に、検索結果件数表示１００２を表示させ、検索結果の対象イベントテーマ１００９などを画面１００１上に表示させることができる。イベントテーマ１００９は、検索結果の対象イベントテーマの表示の一例である。制御部２０１は、検索結果の対象イベントテーマの表示について、それぞれにチャットボタン１０１０を設けてもよいし、関連する記事情報へのリンク１０１１を設けることもできる。ユーザーによるチャットボタン１０１０の選択を受け付けた場合に、制御部２０１は、ユーザーが行う手続き作業を決定するために用いられる一つ又は複数の質問を提示させることもできる。

【００３５】

また、制御部２０１は、イベントテーマのカテゴリーを選択させ、選択されたカテゴリーに関連するイベントテーマを表示させることもできる。制御部２０１は、例えば、メンバーカテゴリー１００４、イベントカテゴリー１００８といった区分けでカテゴリーを表示し、ユーザーからの選択を受け付ける。メンバーカテゴリーとしては、会社、代表取締役、取締役、従業員、業務委託、監査役、個人事業主などがある。制御部２０１は、メンバーに関するカテゴリーが付与された全てのイベントを表示させるという選択肢を設けてもよい。イベントカテゴリーとしては、入社、退社、契約変更、報酬・給与、結婚・出産・離婚、扶養関係の変更、引越し、税・社会保険などがある。制御部２０１は、ユーザーによりチェック欄１００５にチェックが入れられたことを受け付けると、記憶部２０２を検索し、チェックを入れられたイベントカテゴリーが付与されたイベントテーマを特定し、該当するイベントカテゴリーのイベントテーマを出力部２０４に表示させる。例えば、制御部２０１は、チェック欄１００６にチェックが入ったことを受け付けると、「会社」に関連するイベントテーマを特定し、出力部２０４に該当するイベントテーマを表示させ、チェック欄１００７にチェックが入ったことを受け付けると、「代表取締役」に関連するイベントテーマを特定し、出力部２０４に該当するイベントテーマを表示させる。

【００３６】

制御部２０１は、イベントテーマ選択領域には、特定のイベントテーマ１０１２を表示させてもよい。特定のイベントテーマとしては、例えば、制御部２０１は、その時期によく行われる手続きを特定のイベントテーマとして表示させることができる。また、制御部２０１は、ユーザーの過去の選択に基づき、ユーザーが選択する可能性が高いイベントテーマを特定し、特定のイベントテーマとして表示させることもできる。

制御部２０１は、実施形態１の図３において、選択ボタン３０８「すべてのテーマを見る」が選択された場合に、変形例１の形態のイベントテーマ選択領域を表示させる構成にすることもできる。

例えば、よく使用するイベントテーマの場合には、よく使用するイベントテーマを登録しておいて、使用すると効率がよい。一方、発生頻度が低いイベントの場合には、キーワード検索やカテゴリー検索ができると効率がよい。このように、様々なパターンのイベントテーマ選択領域を用意することで、ユーザーの利便性が高まる。

【００３７】

（変形例２）

実施形態１の変形例２を説明する。変形例２では、実施形態１及び変形例１と異なる点について主に説明する。

図１０は、会社情報登録画面の一例を示す図である。会社などの組織では、例えば、算定基礎届の提出、年度更新、法定調書の提出、源泉所得税の納付、年末調整、償却資産税の申告、源泉所得税の納付、決算、定時株主総会など定期的に必ず発生するイベントテーマがある。このような手続きにおいても、ユーザーが行う一つ又は複数の手続き作業を決定するためには、制御部２０１は、ユーザーに一つ又は複数の質問を提示し、回答を受け付ける必要がある。制御部２０１は、定期的に必ず発生するイベントテーマについては、事前に質問を受け付け、事前にまとめてユーザーが行う手続き作業を決定することもできる。制御部２０１は、ユーザーが行う手続き作業を決定するために用いられる一つ又は複数の質問を提示し、質問に対する回答とに基づいて、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定し、手続きに関する手続き作業のスケジュール情報を表示させるようにすることができる。つまり、算定基礎届の提出、年度更新、法定調書の提出、源泉所得税の納付、年末調整、償却資産税の申告、源泉所得税の納付、決算、定時株主総会など定期的に必ず発生するイベントテーマについて、ユーザーが行う手続き作業を決定するのに用いられる一つ又は複数の質問として、制御部２０１は、会社情報登録画面を表示させ、ユーザーに会社情報を登録させることができる。制御部２０１は、会社情報登録画面を介して入力された会社情報に基づいて、定期的に必ず発生するイベントテーマについて、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定し、一つ又は複数の手続きに関する手続き作業のスケジュール情報を選択画面に表示させることができる。

【００３８】

制御部２０１は、会社情報設定画面１１０１では、会社に関する情報１１０２と会社に関するスケジュール情報１１０３を表示させる。会社情報設定画面１１０１は、定期的に必ず発生するイベントテーマについて、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定するのに用いられる質問で構成される。制御部２０１は、会社情報設定画面１１０１において、会社に関する情報として、会社情報、管轄税務署等の住所、代表取締役、社会保険、労働保険などの情報の登録を受け付けられるように構成する。制御部２０１は、会社情報設定画面１１０１において、会社のスケジュール情報として、決算月、前前期の売上、前期の法人税規模、前期の消費税額、源泉所得税の特例適用の有無、給料日、賞与日などを登録を受け付けることができるように構成する。制御部２０１は、ユーザーにより、スケジュール設定１１０４が選択させたことを受け付けると、会社情報設定画面１１０１において、スケジュール設定が行えるように制御する。制御部２０１は、ユーザーにより各項目に設けられた変更ボタン１１０５を押下させたことを受け付けると、ユーザーにより登録又は変更を受け付ける画面を表示させる。制御部２０１は、ユーザーからの登録や変更を受け付けると、受け付けた情報を記憶部２０２に記憶させる。制御部２０１は、会社に関する情報１１０２と会社に関するスケジュール情報１１０３に基づいて、定期的に必ず発

生するイベントテーマについて、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定し、一つ又は複数の手続きに関する手続き作業のスケジュール情報を選択画面に表示させる。

【００３９】

ユーザーは、毎年、必ず決まった時期に発生する手続きについて、予め会社情報に関する質問に対し、回答を登録しておく。このことにより、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きが決定され、一つ又は複数の手続きに関する手続き作業のスケジュール情報が選択画面に表示される。ユーザーは、毎回イベントテーマの選択をしたり、質問に回答する作業をする手間を省くことができる。また、予め登録されるため、登録作業の抜け漏れが発生することもなくなる。その結果、ユーザーは、必要な手続きを抜け漏れなく実施することができる。

【００４０】

（変形例３）

実施形態１の変形例３を説明する。変形例３では、実施形態１及び変形例１、変形例２と異なる点について主に説明する。

クライアント装置１１０は、情報処理の一部について、ネットワーク１２０を介して、サーバー装置１００により実施させることもできる。

【００４１】

（システム構成）

図１１は、情報処理システムのシステム構成の一例を示す図である。図１１に示されるように、情報処理システムは、クライアント装置１１０と、サーバー装置１００と、を含む。クライアント装置１１０と、サーバー装置１００とは、ネットワーク１２０を介して通信可能に接続されている。ユーザーは、クライアント装置１１０を用いて、書類データ等の作成、修正等を行う。なお、クライアント装置１１０は、ＰＣ（Ｐｅｒｓｏｎａｌ Ｃｏｍｐｕｔｅｒ）であってもよいし、スマートフォンであってもよいし、タブレット型コンピュータであってもよい。

【００４２】

（サーバー装置１００のハードウェア構成）

図１２は、サーバー装置１００のハードウェア構成の一例を示す図である。サーバー装置１００は、ハードウェア構成として、制御部１２０１と、記憶部１２０２と、通信部１２０３と、を含む。制御部１２０１は、ＣＰＵ（Ｃｅｎｔｒａｌ Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇ Ｕｎｉｔ）等であって、サーバー装置１００の全体を制御する。記憶部１２０２は、ＨＤＤ（Ｈａｒｄ Ｄｉｓｋ Ｄｒｉｖｅ）、ＲＯＭ（Ｒｅａｄ Ｏｎｌｙ Ｍｅｍｏｒｙ）、ＲＡＭ（Ｒａｎｄｏｍ Ａｃｃｅｓｓ Ｍｅｍｏｒｙ）、ＳＳＤ（Ｓｏｌｉｄ Ｓｔａｔｅ Ｄｒｉｖｅ）の何れか、又はこれらの任意の組み合わせであって、プログラム及び制御部１２０１がプログラムに基づき処理を実行する際に利用するデータ等を記憶する。制御部１２０１が、記憶部１２０２に記憶されているプログラムに基づき、処理を実行することによって、サーバー装置１００の機能等が実現される。通信部１２０３は、ＮＩＣ（Ｎｅｔｗｏｒｋ Ｉｎｔｅｒｆａｃｅ Ｃａｒｄ）等であって、サーバー装置１００をネットワーク１２０に接続し、他の装置（例えば、クライアント装置１１０等）との通信を司る。

【００４３】

サーバー装置１００は、例えば、選択画面を介して、複数のイベントテーマのうち１つのイベントテーマが選択された場合、選択されたイベントテーマに関する複数の手続き作業の中から、ユーザーが行う手続き作業を決定するのに用いられる一つ又は複数の質問を提示し、選択されたイベントテーマと前記質問に対する回答とに基づいて、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定することができる。その場合の情報処理について実施形態１と異なる部分を下記に示す。

図２のアクティビティ図において、クライアント装置１１０の制御部２０１が行っていた処理をサーバー装置１００の制御部１２０１が行う。

制御部２０１に代わり制御部１２０１が処理を行う場合には、サーバー装置１００の記

憶部１２０２は、組織に関するイベントテーマの情報と、イベントテーマからユーザーが行う手続きを特定するための情報と、具体的な手続き作業の情報と、手続き作業に関連する記事情報とユーザーに関する情報とを、記憶している。サーバー装置１００の制御部１２０１は、記憶部１２０２に記憶された情報と、クライアント装置１１０の制御部２０１からの要求とに基づき、処理を行う。

【００４４】

また、サーバー装置１００の制御部１２０１は、クライアント装置１１０の制御部２０１に代わり、決定された手続き作作業のスケジュール情報の詳細を表示するにあたって実施する情報処理の一部を、実施することもできる。例えば、制御部１２０１は、サーバー装置１００の記憶部１２０２に記憶された具体的な手続き作業の情報を参照し、図５の作業手順表示画面６０１を表示させることができる。また、サーバー装置１００の制御部１２０１は、決定された手続き作業が複数ある場合には、記憶部１２０２に記憶された情報を使用し、それぞれの手続きの期限情報と、それぞれの手続きの関係性に基づき、手続き作業のプロセスを決定し、クライアント装置１１０に送信させることもできる。

〈付記〉

発明は、次に記載の各態様で提供されてもよい。

【００４５】

（１）情報処理装置であって、制御部を有し、前記制御部は、選択画面を表示し、前記選択画面は、組織に関する複数のイベントテーマが選択可能に構成され、前記選択画面を介して、複数のイベントテーマのうち１つのイベントテーマが選択された場合、選択されたイベントテーマに関する複数の手続き作業の中から、ユーザーが行う手続き作業を決定するのに用いられる一つ又は複数の質問を提示し、選択されたイベントテーマと前記質問に対する回答とに基づいて、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定し、前記一つ又は複数の手続きに関する手続き作業のスケジュール情報を前記選択画面と同一画面上に表示させる、情報処理装置。

【００４６】

（２）上記（１）に記載の情報処理装置において、前記スケジュール情報は、手続き作業の内容と手続き作業の期限情報を含むものである、情報処理装置。

【００４７】

（３）上記（１）又は（２）に記載の情報処理装置において、前記制御部は、前記手続き作業のスケジュール情報に、複数の手続き作業に関する情報が含まれる場合、前記複数の手続き作業を表示する順番を、それぞれの手続きの期限情報に基づき、決定する、情報処理装置。

【００４８】

（４）上記（１）から（３）までの何れか１項に記載の情報処理装置において、前記制御部は、前記手続き作業のスケジュール情報には、実施状況の情報が含まれ、前記実施状況の情報は、ユーザーのからの指示に基づき変更される、情報処理装置。

【００４９】

（５）上記（１）から（４）までの何れか１項に記載の情報処理装置において、前記選択画面は、組織に関する複数のイベントテーマのうち、ユーザーが選択した特定のイベントテーマを優先して表示するように構成される、情報処理装置。

【００５０】

（６）上記（１）から（５）までの何れか１項に記載の情報処理装置において、前記制御部は、同一のイベントに対して決定された一つ又は複数の手続き作業のスケジュール情報について、作業手順を表示し、決定された手続き作業のスケジュール情報が複数ある場合には、それぞれの手続きの期限情報及びそれぞれの手続きの関係性に基づき、複数の手続き作業のスケジュール情報の、実施順を決定し、決定した前記実施順に基づき前記作業手順を表示する、情報処理装置。

【００５１】

（７）上記（１）から（６）までの何れか１項に記載の情報処理装置において、前記制御

部は、ユーザーが手続き作業のスケジュール情報に表示された複数の手続き作業の中の、一つの手続き作業を実施する場合、同一のイベントに対して決定された、手続き一覧を前記選択画面に表示する、情報処理装置。

【００５２】

（８）上記（７）に記載の情報処理装置において、前記手続き一覧は、処理が未完了の手続きの一覧である、情報処理装置。

【００５３】

（９）上記（１）から（８）までの何れか１項に記載の情報処理装置において、前記制御部は、会社情報登録画面を表示し、前記会社情報登録画面を介して入力された会社情報に基づいて、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定し、前記一つ又は複数の手続きに関する手続き作業のスケジュール情報を前記選択画面に表示させる、情報処理装置。

【００５４】

（１０）上記（１）から（９）までの何れか１項に記載の情報処理装置において、前記制御部は、前記イベントテーマとともに、又は、前記手続き作業のスケジュール情報とともに、手続き作業に関連する記事情報へのリンクを表示させる、情報処理装置。

【００５５】

（１１）上記（１）から（１０）までの何れか１項に記載の情報処理装置において、前記制御部は、前記手続き作業のスケジュール情報の実施状況が完了となるべき手続き期限までの残日数に基づき、前記選択画面と同一画面上に前記残日数に関する情報を表示させる、情報処理装置。

【００５６】

（１２）上記（１）から（１１）までの何れか１項に記載の情報処理装置において、前記組織に関するイベントテーマは、前記組織に関する税務、又は経理、又は労務、又は登記の分野に関するものである、情報処理装置。

【００５７】

（１３）上記（１）から（１２）までの何れか１項に記載の情報処理装置において、前記制御部は、ユーザーについての情報登録画面を表示し、前記情報登録画面は、ユーザーに関する質問を提示し、前記質問に対しユーザーから受け付けた回答に基づき、前記手続きの内容及び前記手続きの期限の何れか又は双方を変更する、情報処理装置。

【００５８】

（１４）情報処理装置が実行する情報処理方法であって、選択画面を表示し、前記選択画面は、組織に関する複数のイベントテーマが選択可能に構成され、前記選択画面を介して、複数のイベントテーマのうち１つのイベントのテーマが選択された場合、当該イベントテーマ内の複数の手続き作業の中から、ユーザーが行う手続き作業を決定するのに用いられる一つ又は複数の質問を提示し、選択されたイベントテーマと前記質問に対する回答とに基づいて、ユーザーが行う一つ又は複数の手続きを決定し、前記一つ又は複数の手続きに関する手続き作業のスケジュール情報を前記選択画面に表示させる、情報処理方法。

【００５９】

（１５）プログラムであって、コンピュータを、上記（１）から（１３）までの何れか１項に記載の情報処理装置の制御部として機能させるためのプログラム。

もちろん、この限りではない。

【００６０】

例えば、上述のプログラムを記憶する、コンピュータ読み取り可能な非一時的な記憶媒体として提供してもよい。

また、上述した実施形態及び変形例を任意に組み合わせて実施するようにしてもよい。

【００６１】

最後に、本発明に係る種々の実施形態を説明したが、これらは、例として提示したものであり、発明の範囲を限定することは意図していない。新規な実施形態は、その他の様々な形態で実施されることが可能であり、発明の要旨を逸脱しない範囲で、種々の省略、置き換え、変更を行うことができる。実施形態やその変形は、発明の範囲や要旨に含まれる

とともに、特許又は実用新案登録に関する請求の範囲に記載された発明とその均等の範囲に含まれるものである。

【符号の説明】

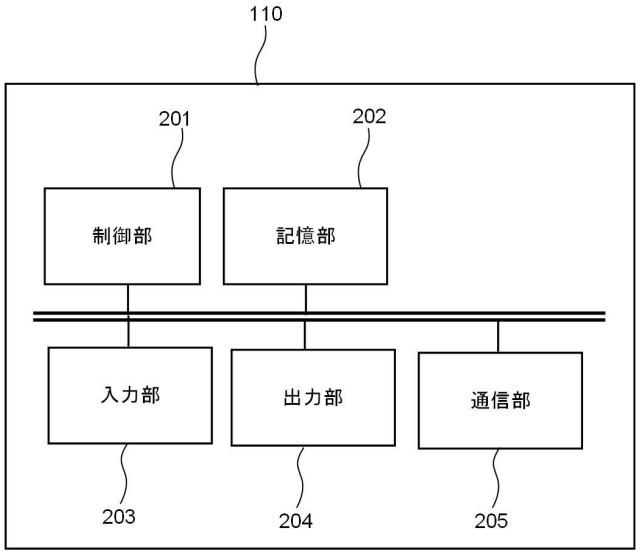
【００６２】

１００　：サーバー装置
１１０　：情報処理装置
１２０　：ネットワーク
２０１　：制御部
２０２　：記憶部
２０３　：入力部
２０４　：出力部
２０５　：通信部
３０１　：画面
３０２　：領域
３０３　：選択ボタン
３０４　：選択ボタン
３０５　：選択ボタン
３０６　：選択ボタン
３０７　：選択ボタン
３０８　：選択ボタン
３１０　：スケジュール情報表示画面
３１１　：カレンダー
３１２　：スケジュール情報
３１３　：スケジュール情報
３１４　：スケジュール情報
３１５　：日付マーク
３１６　：日付マーク
５０１　：質問提示画面
５０２　：質問
５０３　：回答ボタン
５０４　：説明
５０５　：リンク
５０６　：質問
５０７　：回答ボタン
５０８　：質問
５０９　：回答ボタン
５１０　：質問
５１１　：回答ボタン
５１２　：決定した手続き
６０１　：作業手順表示画面
６０２　：１つ目の手続き作業
６０３　：手続き作業
６０４　：作業項目
６０５　：チェック欄
６０６　：２つ目の手続き作業
６０７　：３つ目の手続き作業
６０８　：完了ボタン
６０９　：記入書類一括ダウンロードボタン
６１０　：詳細表示ボタン
７０１　：一覧表示画面

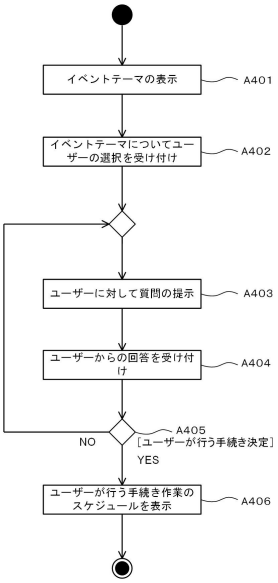
７０２　：マーク
７０３　：作業
７０４　：作業
７０５　：作業
８０１　：リマインド画面
８０２　：日付
８０３　：リマインド見出し
８０４　：リマインド内容
９０１　：ユーザーについての情報登録画面
９０２　：質問
９０３　：質問
９０４　：質問
９０５　：質問
９０６　：回答ボタン
９０７　：回答ボタン
９０８　：回答ボタン
９０９　：回答ボタン
１００１　：画面
１００２　：検索結果件数表示
１００３　：キーワード入力欄
１００４　：メンバーカテゴリー
１００５　：チェック欄
１００６　：チェック欄
１００７　：チェック欄
１００８　：イベントカテゴリー
１００９　：イベントテーマ
１０１０　：チャットボタン
１０１１　：リンク
１０１２　：特定のイベントテーマ
１１０１　：会社情報設定画面
１１０２　：情報
１１０３　：スケジュール情報
１１０４　：スケジュール設定
１１０５　：変更ボタン
１２０１　：制御部
１２０２　：記憶部
１２０３　：通信部

【図面】

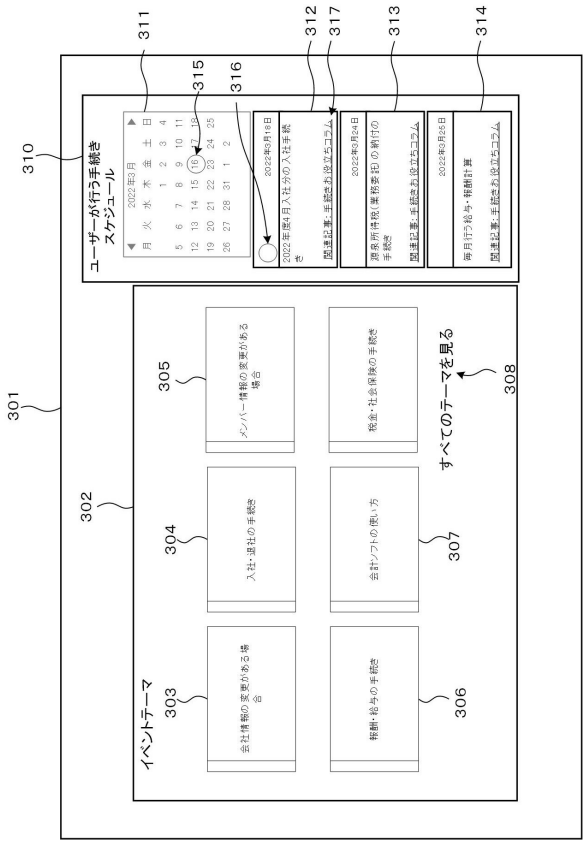
【図１】


110
201
202
制御部
記憶部
入力部
出力部
通信部
203
204
205

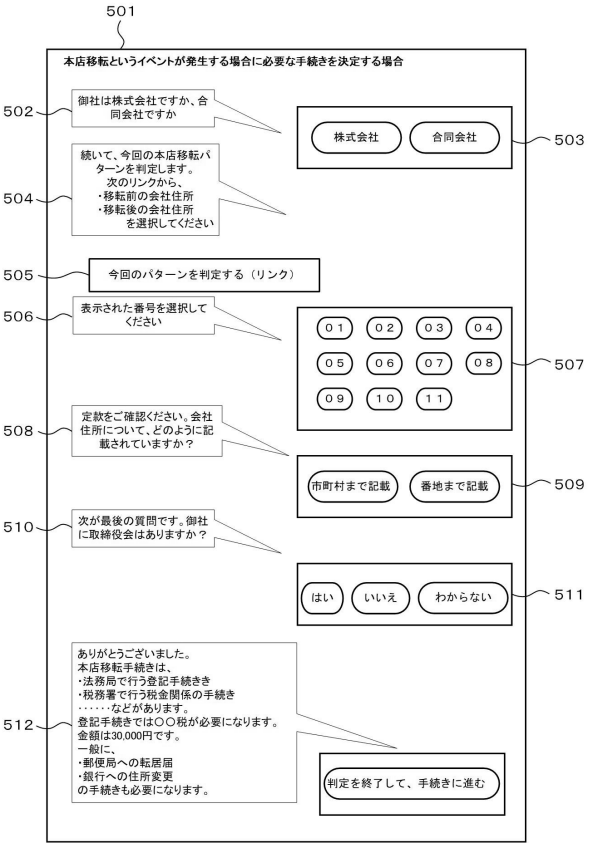
【図２】


イベントテーマの表示
A401
イベントテーマについてユーザーの選択を受け付け
A402
ユーザーに対して質問の提示
A403
ユーザーからの回答を受け付け
A404
NO
A405
［ユーザーが行う手続き決定］
YES
ユーザーが行う手続き作業のスケジュールを表示
A406

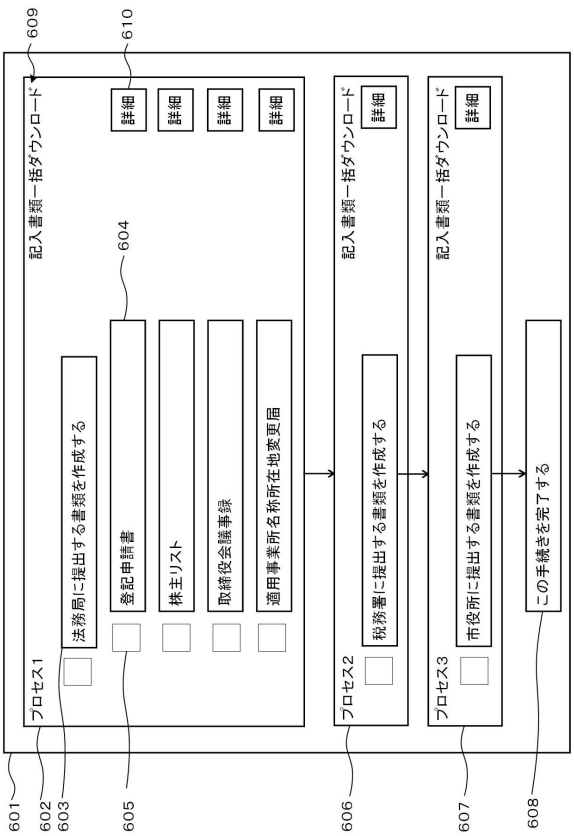
【図３】


311
312
317
313
314
315
316
310
ユーザーが行う手続きスケジュール
2022年3月
2022年度4月入社分の入社手続き
2022年3月18日
2022年3月24日
2022年3月25日
301
302
305
メンバー情報の変更がある場合
税金・社会保険の手続き
すべてのテーマを見る
308
304
入社・退社の手続き
会計ソフトの使い方
307
イベントテーマ
303
会社情報の変更がある場合
306
報酬・給与の手続き

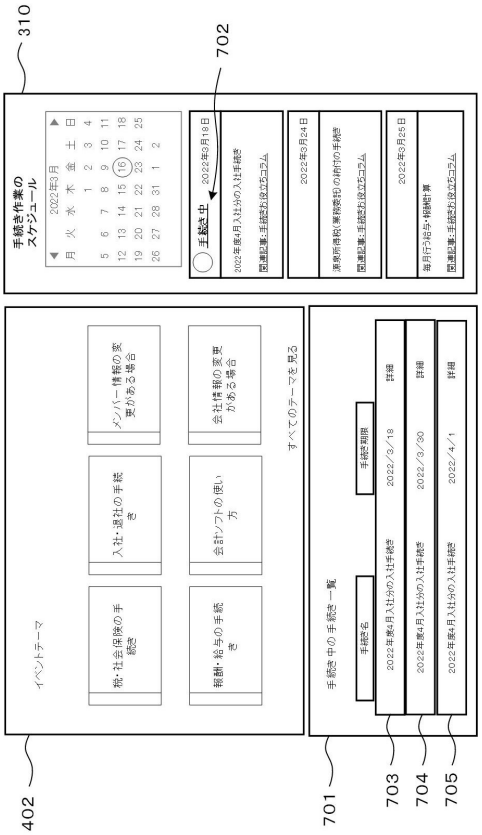
【図４】


501
本店移転というイベントが発生する場合に必要な手続きを決定する場合
502
御社は株式会社ですか、合同会社ですか
株式会社
合同会社
503
504
続いて、今回の本店移転パターンを判定します。
次のリンクから、
・移転前の会社住所
・移転後の会社住所
を選択してください
505
今回のパターンを判定する（リンク）
506
表示された番号を選択してください
01
02
03
04
05
06
07
08
09
10
11
507
508
定款をご確認ください。会社住所について、どのように記載されていますか？
市町村まで記載
番地まで記載
509
510
次が最後の質問です。御社に取締役会はありますか？
はい
いいえ
わからない
511
512
ありがとうございました。
本店移転手続きは、
・法務局で行う登記手続きき
・税務署で行う税金関係の手続き
……などがあります。
登記手続きでは〇〇税が必要になります。
金額は30,000円です。
一般に、
・郵便局への転居届
・銀行への住所変更
の手続きも必要になります。
判定を終了して、手続きに進む

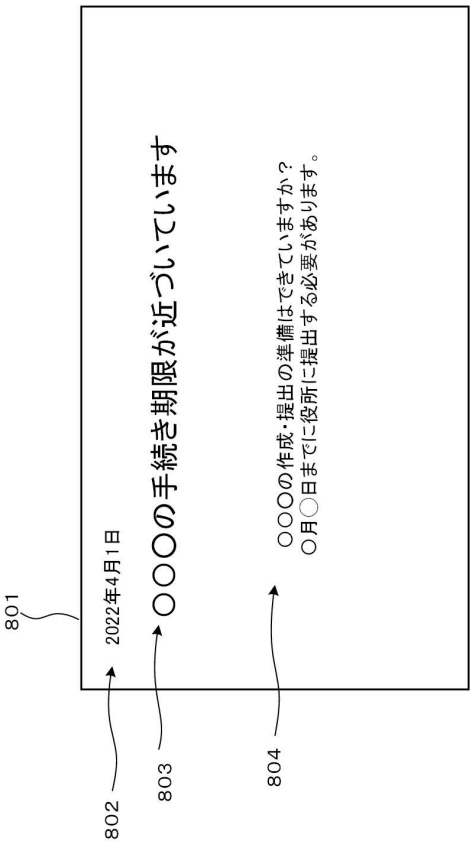
【図５】


609
610
記入書類一括ダウンロード
詳細
詳細
詳細
詳細
604
法務局に提出する書類を作成する
登記申請書
株主リスト
取締役会議事録
適用事業所名称所在地変更届
プロセス1
記入書類一括ダウンロード
詳細
税務署に提出する書類を作成する
プロセス2
記入書類一括ダウンロード
詳細
市役所に提出する書類を作成する
プロセス3
この手続きを完了する
601
602
603
605
606
607
608

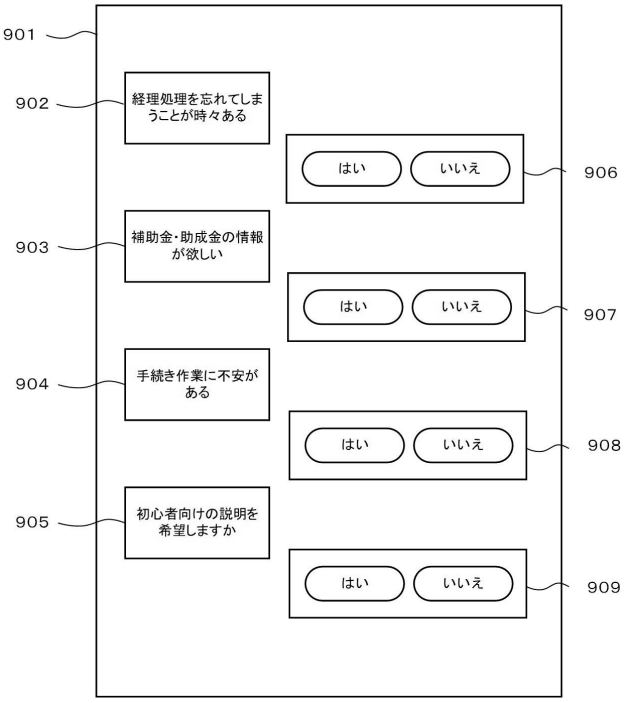
【図６】


310
702
手続き作業のスケジュール
2022年3月
月 火 水 木 金 土 日
1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 31 1 2
2022年3月18日
手続き中
2022年3月24日
2022年3月25日
イベントテーマ
すべてのテーマを見る
メンバー情報の変更がある場合
会社情報の変更がある場合
入社・退社の手続き
会計ソフトの使い方
税・社会保険の手続き
賞与・給与の手続き
手続き中の手続き一覧
手続き名
手続き期限
2022年度4月入社分の入社手続き
2022/3/18
2022年度4月入社分の入社手続き
2022/3/30
2022年度4月入社分の入社手続き
2022/4/1
詳細
402
701
703
704
705

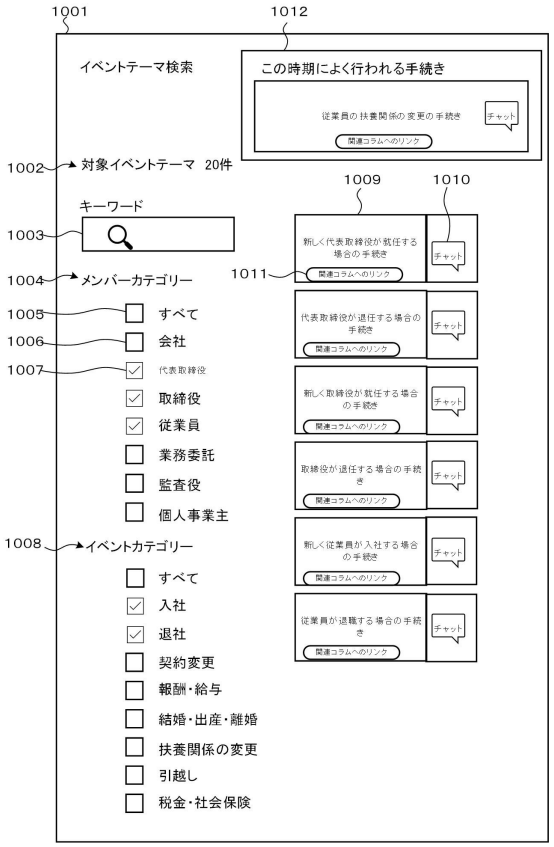
【図７】


801
2022年4月1日
○○○の手続き期限が近づいています
○○○の作成・提出の準備はできていますか？
○月○日までに役所に提出する必要があります。
802
803
804

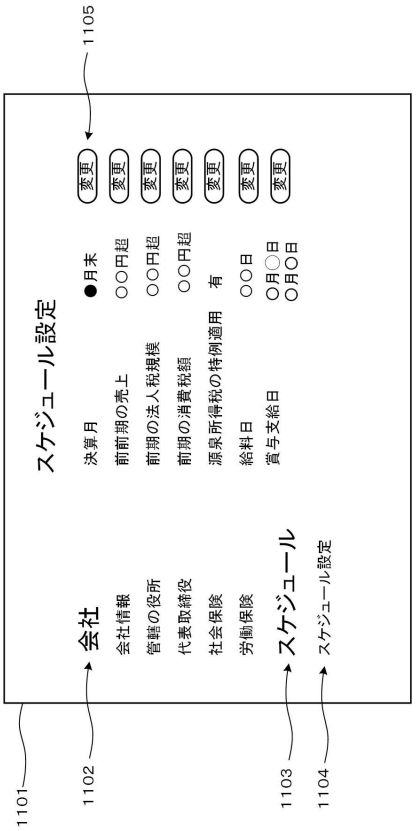
【図８】


901
902
経理処理を忘れてしまうことが時々ある
はい
いいえ
906
903
補助金・助成金の情報が欲しい
はい
いいえ
907
904
手続き作業に不安がある
はい
いいえ
908
905
初心者向けの説明を希望しますか
はい
いいえ
909

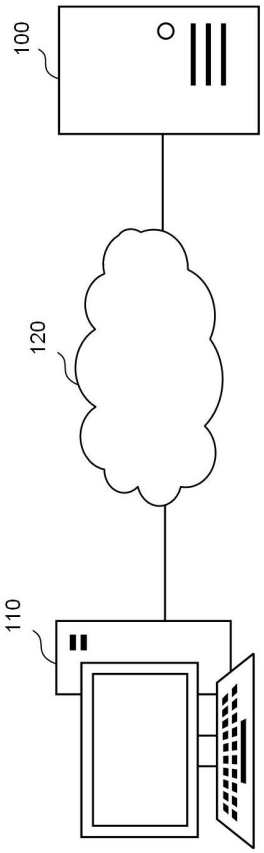
【図９】




【図１０】




【図１１】




【図１２】

